

日本分類学会連合ニュースレター

*News Letter published by the Union of  
Japanese Societies for Systematic Biology*

No. 28 [2016年10月31日]

## 日本分類学会連合のトピックス

### 第16回日本分類学会連合公開シンポジウム

日本分類学会連合第16回公開シンポジウム「若手分類学者の底力を見よ！～社会の眼も意識しつつ～」が以下の要領で開催されます。

**日時：** 2017年1月7日(土) 13:30～17:00

**会場：** 国立科学博物館(上野本館)

#### 開催趣旨：

地球資源の有限性、人類の経済活動による生物多様性の急速な衰退がいわれて久しいが、人類も知恵を絞って自らの破滅を未然に防ぐべく奮闘している。バイオミメティクス、バイオ燃料、微細藻類を活用した食糧開発、生態系サービスによる評価、など枚挙に暇がない。この生物多様性保全およびその活用の一連の流れで最も根幹をなすのは分類学である。生物が正確に分類、同定されていなければ誤用にも繋がりがかねないのである。また、生態研究への情報発信もままならぬ。

この社会の動きの中で最も必要なことが二つある。一つは、一般社会に生物多様性の重要性を認識してもらおう努力を分類学研究者が成すこと。もう一つは活力あり、チャレンジ精神旺盛な分類学研究者を社会が育成していくことである。この二つことを今回のシンポジウムで融合させることを試みる。

陸圏、水圏に生息する現生種の緻密な分類、生物の系統、進化を地史的に鋭く考察できる若者が幸いなことに日本にはまだまだ数多くいる。この若者たちに活躍の場を与えたい、そのような意図から本企画を立案した。

日本分類学会連合代表  
大塚 攻

#### 演者及び演題：

白鳥 峻志 (筑波大学生命環境系)

原生物の高次分類 – 進化の空白を埋める –

白水 貴 (国立科学博物館植物研究部)

菌類の見えない多様性を解き明かす – 研究成果の社会還元も模索しつつ –

堀 清鷹 (首都大学東京・牧野標本館)

イタチシダ類無配生殖種複合体 *Dryopteris varia* complex における網状進化

片山 なつ (日本女子大学理学部)

カワゴケソウ科の進化学 – 水と岩との間には今日も平たい草がいる –

千徳 明日香 (クイーンズランド大学)

サンゴ類における形態形成様式と機能形態

中野 隆文 (広島大学大学院教育学研究科)

山地にうごめく巨食性ヒル類：分類学的再検討と「胃通管」

田中 隼人 (東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター)

貝形虫類の自然史研究 – 砂の隙間から超深海まで –

細石 真吾 (九州大学熱帯農学研究センター)

熱帯アジアのアリ分類学：分子系統と地史からの統合的アプローチ

\*\*\*\*\*

### 日本分類学会連合加盟学会の 大会・シンポジウム情報

#### 種生物学会

第48回種生物学シンポジウム(予定)

会期：2016年12月2日(金)～4日(日)

会場：北海道札幌市 定山溪ビューホテル

#### 日本甲虫学会

日本甲虫学会第7回大会

会期：2016年11月26日(土)～27日(日)

会場：大阪市立自然史博物館

#### 日本古生物学会

古生物学会第166回例会

会期：2017年1月27日(金)～29日(日)

会場：早稲田大学

#### 日本植物分類学会

日本植物分類学会第16回大会

会期：2017年3月9日(木)～12日(日)

会場：京都大学

#### 日本藻類学会

日本藻類学会第41回大会

会期：2017年3月23日(木)～25日(土)

会場：高知大学(朝倉キャンパス)

#### 日本動物分類学会

日本動物分類学会シンポジウム

会期：2016年11月17日(木)

会場：沖縄コンベンションセンター

#### 日本爬虫両棲類学会

日本爬虫両棲類学会第55回大会

会期：2016年11月26日(土)～27日(日)

会場：琉球大学

\*\*\*\*\*

〈TAXA〉は2003年12月13日に開設され、2003年12月24日午後5時に稼動開始しました。2016年6月30日の時点で1053名の会員が登録されています。入会を希望される方は、

- 1) メールアドレス
- 2) 氏名(日本語表記ならびにローマ字表記)
- 3) 所属

を明記の上、〈TAXA〉運営担当の三中信宏(taxa-admin@ml.affrc.go.jp)までご連絡ください。

\*\*\*\*\*

### 学術研究助成関連情報

#### 第26回(平成28年度)

#### 公益財団法人昭和聖徳記念財団学術研究助成

【募集目的】 昭和天皇の研究分野(系統分類学)およびそれに関する生物学の研究を奨励し、学術研究の推進・発展に寄与することを目的とする。

【対象研究】 系統分類に関する研究。

【助成額・期間】 1件あたり50万円以内。期間は1年間(平成29年4月~30年3月)。

【申請資格】 原則として学術研究機関等に属している人、またはグループ。グループの場合は代表者を明確にしてください。

【申請締切日】 平成28年12月10日(土)必着。

【申請方法】 メールまたは郵便。募集要項(PDF)、申請書類(Word)はホームページからダウンロードできます。

#### 【提出先・問合せ先】

公益財団法人昭和聖徳記念財団「学術研究」係  
 〒190-0012 東京都立川市曙町 2-34-13 オリピック第3ビル  
 TEL: 042-540-0429 FAX: 042-528-0107  
 E-mail: ssmf@f-showa.or.jp  
 URL: http://www.f-showa.or.jp

#### 【編集後記】

分類連合ニュースレターでは随時加盟学会員の皆様から広くご寄稿を募集しております。原稿は江口宛(antist@tmu.ac.jp)に電子メールでお送りください。皆様からの多数のご寄稿をお待ち申し上げます。(ニュースレター編集担当: 江口克之)

\*\*\*\*\*

日本分類学会連合ニュースレター 第28号  
 2016年10月31日発行  
 発行者 日本分類学会連合  
 事務局 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1  
 国立科学博物館・筑波研究施設内  
 編集者 江口克之(首都大学東京大学院理工学研究科)

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

### TAXA —— 生物分類学メーリングリスト

日本分類学会連合が運営するメーリングリスト〈TAXA〉は、生物分類学に関する情報交換や討論をするためのメーリングリストで、生物分類学に関心をもつすべての方に開放されています。〈TAXA〉メーリングリストは下記の趣旨により開設されました。

日本分類学会連合は、「生物の分類学全般にかかわる研究および教育を推進し、我が国におけるこの分野の普及と発展に寄与することを目的(規約第2条)」として、2002年1月12日に設立されました。現在、分類学に関係の深い27の学会が加盟しています。その後、本連合はこの目的に向かって様々な活動を展開してきましたが、このたび新たな事業として「メーリングリスト〈TAXA〉」を開設することになりました。このリストの趣旨は、本連合からの広報のほかに、登録会員が互いに分類学に関する情報交換や討論をするための場を提供することにあります。したがって、このリストは本連合の加盟学会の会員ばかりでなく、分類学に関心をもつすべての方に開放されます。なお、リストへの登録など管理、運営は本連合の担当者が行いますが、投稿は登録会員なら誰でも自由に行えます。多くの方が登録くださいますようご案内申し上げます。

2003年12月21日  
 日本分類学会連合  
 代表:加藤雅啓